

比婆いざなみ街道物語

庄原市北部資源活用計画



平成27年8月

庄原市

目 次

第一話 比婆いざなみ街道への誘い ～沿線の観光資源と今後の展開～	1
第二話 比婆いざなみ街道の誕生 ～計画の基本事項～	
(1) 趣旨	2
(2) 対象期間	2
第三話 比婆いざなみ街道のまち ～本市の特性及び背景～	
(1) 広大な区域面積	3
(2) 道路機能の向上(中国やまなみ街道の開通)	3
(3) 観光交流人口の拡大	4
第四話 比婆いざなみ街道に眠る宝物 ～沿線の地域資源～	
(1) 主な観光資源	5
(2) 主な文化財	6
(3) 主な観光農園・夏秋いちご生産地・園芸振興作物・キャベツ生産団地	7
(4) 主な畜産	8
(5) 団地化された森林	9
第五話 物語の光と影 ～資源活用における強みと弱み～	10
(1) 多様な資源が所在	10
(2) 観光振興計画に沿った取り組み	10
(3) 資源の活用不足	10
(4) 道路の現況	10
第六話 物語の起承転結 ～資源活用の基本方向～	11
第七話 比婆いざなみ街道で宝探し ～対象路線～	12
第八話 憧憬の地への挑戦 ～第1期事業計画～	
(1) 資源の発掘と磨き上げ	14
(2) 新たな景観形成	16
(3) にぎわい創出施設の機能強化	17
第九話 物語は第2幕へ ～今後の検討事項～	19
資料	20

“いざなみ(伊邪那美命・いざなみのみこと)”とは

日本神話の女神であり、伊邪那岐命の妻。国産み・神産みにおいて日本国土を形づくる多数の子(淡路島・隠岐島からやがて日本列島)を生み、更に山・海など森羅万象の神々を生んだとされる。

そのなきからは、『古事記』には出雲国と伯耆国(伯耆)との境の比婆之山に葬られたと記述されている。

『古事記』に記された比婆之山は、広島県庄原市と島根県安来市に所在するいずれも「比婆山」の2説が有力とされているが、庄原市の比婆山御陵は、“美古登山”とも称され、山頂には“伊邪那美命”の陵墓とも伝えられる苔むした巨石が横たわっている。(比婆山伝説地として広島県の史跡に指定)

第一話 比婆いざなみ街道への誘い ～沿線の観光資源と今後の展開～

～多様な観光資源～

比婆道後帝釈国定公園および“比婆いざなみ街道”の周辺には、神話・伝説の地をはじめ、歴史遺産や遺跡群、中国山地ならではの豊かな自然や内陸気候に育まれた農産物など、多様な資源が存在します。

一例として、域内には多くの“たたら跡”が点在しますが、中でも県民の森の入口にある「六の原製鉄場跡(県史跡)」が有名です。高殿の構造は不明ですが、発掘調査により鉦を乾燥させるための長さ約7mのトンネル状小舟が確認(現在は地下に保存)されています。また、吾妻山の大池などは、鐵穴流しの水源地として利用されていました。

日本神話に関する伝説地として知られる比婆山御陵は、『古事記』にイザナミノミコトを葬ったと記された「比婆之山」に比定する説が古くからあり、県内随一の巨杉群に囲まれた社叢で知られる熊野神社は、比婆山御陵を神体山とする南麓の遥拝所として、古くから篤い信仰の対象となっています。

帝釈には、寄倉岩陰遺跡(国史跡)、馬渡岩陰遺跡(県史跡)など、日本を代表する縄文時代の遺跡が数多く所在します。特に寄倉岩陰遺跡は全長30mと規模も大きく、出土した土器は中四国地方の縄文時代の年代を決定する指標にもなっています。

～四季の彩り～

春は東城小奴可の要害桜や千鳥別尺のヤマザクラ、森湯谷のエドヒガン、高野の円正寺・金秀寺のしだれ桜が多くの観光客を迎えています。

夏には国指定の天然記念物帝釈峽・雄橋や比婆山のブナ純林、熊野の大トチなどを訪れるハイカーで賑わいます。

秋には地域一体の山々が紅く染まる中、清流で育ったコメやりんごが収穫され、冬はスキー場や温泉で雪を楽しむなど、四季に応じて古代のロマンと自然の豊かさ・恵みを感じることができます。

～今後の展開～

こうした多様な資源を繋ぎ、一体的な地域ブランドとして発信するため、高野インターチェンジ～熊野神社前～東城インターチェンジの路線を“比婆いざなみ街道”と命名するとともに、ルート設定や案内・誘導に取り組むことで、地域資源の認知度向上と観光客の増、地域経済の活性化への展開を図ります。

第二話 比婆いざなみ街道の誕生 ～計画の基本事項～

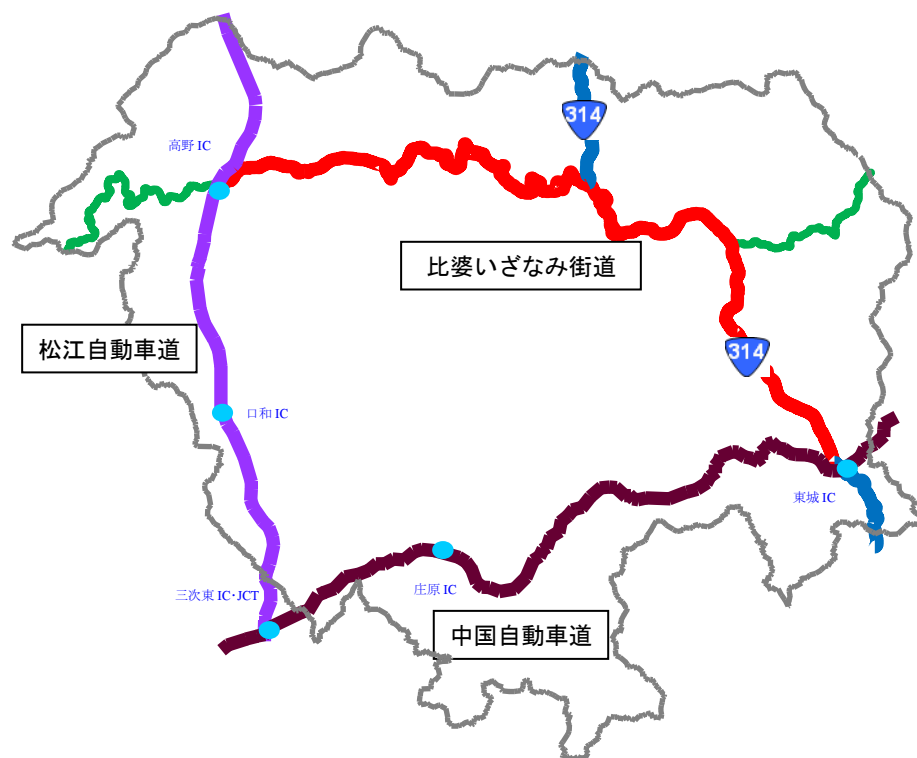
(1) 趣旨

合併により広域となった本市には、自然豊かな山や溪谷、人工的に形成された水辺などの美しい風景のみならず、暮らしの中で守り・育まれてきた多種・多様かつ貴重な資源が存在し、これらの維持と活用は、当然のこととして今後も取り組んでいかなければなりません。

この計画は、本市の北西部と南東部を結ぶ道路を【比婆いざなみ^{かいどう}街道】と称し、その道路機能及び周辺に所在する地域資源を生かした観光振興やにぎわい創出、交流・定住を促進するため、当該資源の活用に関する方向性や施策・事業などを整理したものです。

■比婆いざなみ街道

高野インターチェンジ～熊野神社前～東城インターチェンジの路線を対象とします。



(2) 対象期間

この計画の対象期間は、平成28年度から平成37年度末までの10年間とし、事業計画については、第1期(平成28年度～平成32年度)、第2期(平成33年度～平成37年度)の2期に分けて整理します。なお、事業計画は、毎年度、見直しを行います。

前記対象期間にかかわらず平成27年度を準備期間とし、必要な事業については、補正予算での対応も検討します。

第三話 比婆いざなみ街道のまち ～本市の特性及び背景～

(1) 広大な区域面積

1市6町の合併により誕生した本市は、広島県の北東部、中国地方のほぼ中央に位置し、東西約53km、南北約42kmのおおむね四角形で、面積は1,246km²。広島県の約14%を占め、全国自治体の中で13番目、近畿以西では最大の区域面積(平成27年3月31日現在)となっています。

この広大な区域内にあって、旧市町の中心部から放射状に大小の道路が延びているため、南部に形成された一部の市街地を除き、山間に集落や住居が点在する典型的な中山間地域^{やまあい}の形態を有しています。



(2) 道路機能の向上(中国やまなみ街道の開通)

本市は、南部の横軸として中国自動車道が、西部の縦軸として松江自動車道が整備され、4つのインターチェンジが所在する優位性を有しています。

加えて、平成27年3月22日に中国やまなみ街道(中国横断自動車道尾道松江線)が全線開通し、さらなる交流人口の拡大が期待されています。



高野インターチェンジ



東城インターチェンジ

(3) 観光交流人口の拡大 ～減少傾向にあった観光客数は、松江自動車道の開通で増加～

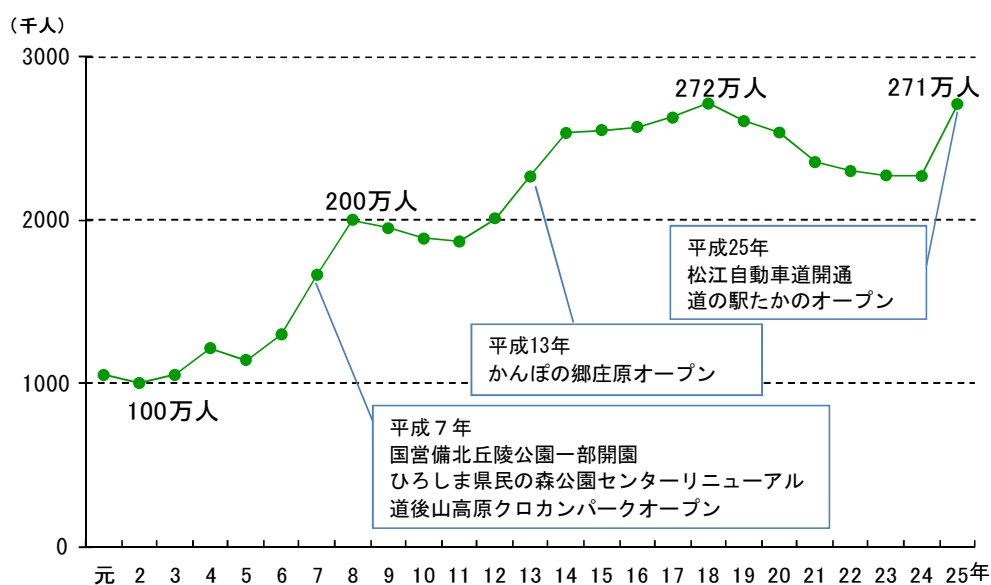
平成元年を起点とした本市の総観光客数は、2つの大きな波を経て増加しています。

第1の波は平成7年の「国営備北丘陵公園」の一部開園、「ひろしま県民の森公園センター」のリニューアル等に起因したもので、約100万人から約200万人へと倍増し、第2の波は平成13年の「かんぼの郷庄原」のオープンを契機として約272万人まで増加しました。

以後、近年は減少傾向にありましたが、平成25年は松江自動車道の開通による高野地域での著しい増加もあって、約271万人となっています。

さらに平成27年3月22日に中国やまなみ街道(尾道松江線)が全線開通し、山陰と山陽及び四国との交流促進、ニーズの多様化に伴うインバウンド観光の活発化などが見込まれ、市内施設への立ち寄りや市内観光地への流入が期待されます。

■ 庄原市の総観光客数



(資料) 広島県観光客数の動向

※平成25年は庄原市集計値

■ 北部4地域の観光客数・観光消費額 ～高野地域で著しく増加～

観光地	総観光客数 (人)			観光消費額 (千円)		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
西城地域	291,148	277,939	259,162	655,231	638,485	638,485
東城地域	265,367	258,460	256,714	275,239	285,788	292,992
高野地域	97,245	507,498	485,854	84,357	606,158	609,966
比和地域	104,198	101,607	116,459	129,426	78,749	59,482
小計	757,958	1,145,504	1,091,189	1,144,253	1,609,180	1,608,365
庄原市全体	2,271,142	2,712,492	2,710,858	3,936,526	3,944,721	4,047,663
北部地域の占める割合	33.4%	42.2%	40.3%	29.1%	40.8%	39.7%

資料：広島県観光客統計調査表 各年(1月～12月)抜粋

第四話 比婆いぎなみ街道に眠る宝物 ～沿線の地域資源～

(1) 主な観光資源(観光交流施設、自然、スポーツ施設)



◆道の駅たかの



◆道後山



◆スノーリゾート猫山



◆ぼにばなの丘 (ヒゴタイ)



国営備北丘陵公園



◆帝釈峡 (神龍湖)



◆熊野神社



◆比婆山



◆リフレッシュハウス東城

(2) 主な文化財



◆上高野山の乳下りイチョウ



◆蒨山城跡



◆熊野神社の老杉



◆塩原の大山供養田植



●	天然記念物
●	重要文化財
●	史跡
●	有形民俗文化財
●	無形民俗文化財
●	登録有形文化財



◆小鳥原のソウズ



◆荒木家住宅



◆ゴギ



◆三楽荘本館



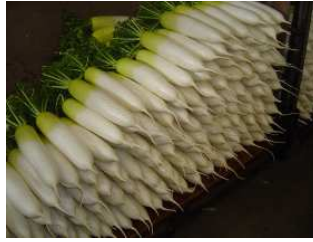
◆比婆荒神神楽

◆小奴可の要害桜

(3) 主な観光農園(りんご)・夏秋いちご生産地・園芸振興作物・キャベツ生産団地



◆観光りんご園 (高野・西城・東城)



◆だいこん (高野・東城)



◆青ねぎ (西城)



◆トマト (高野・西城・東城)



◆アスパラガス (高野・比和・西城・東城)



◆夏秋いちご (高野・西城・東城)

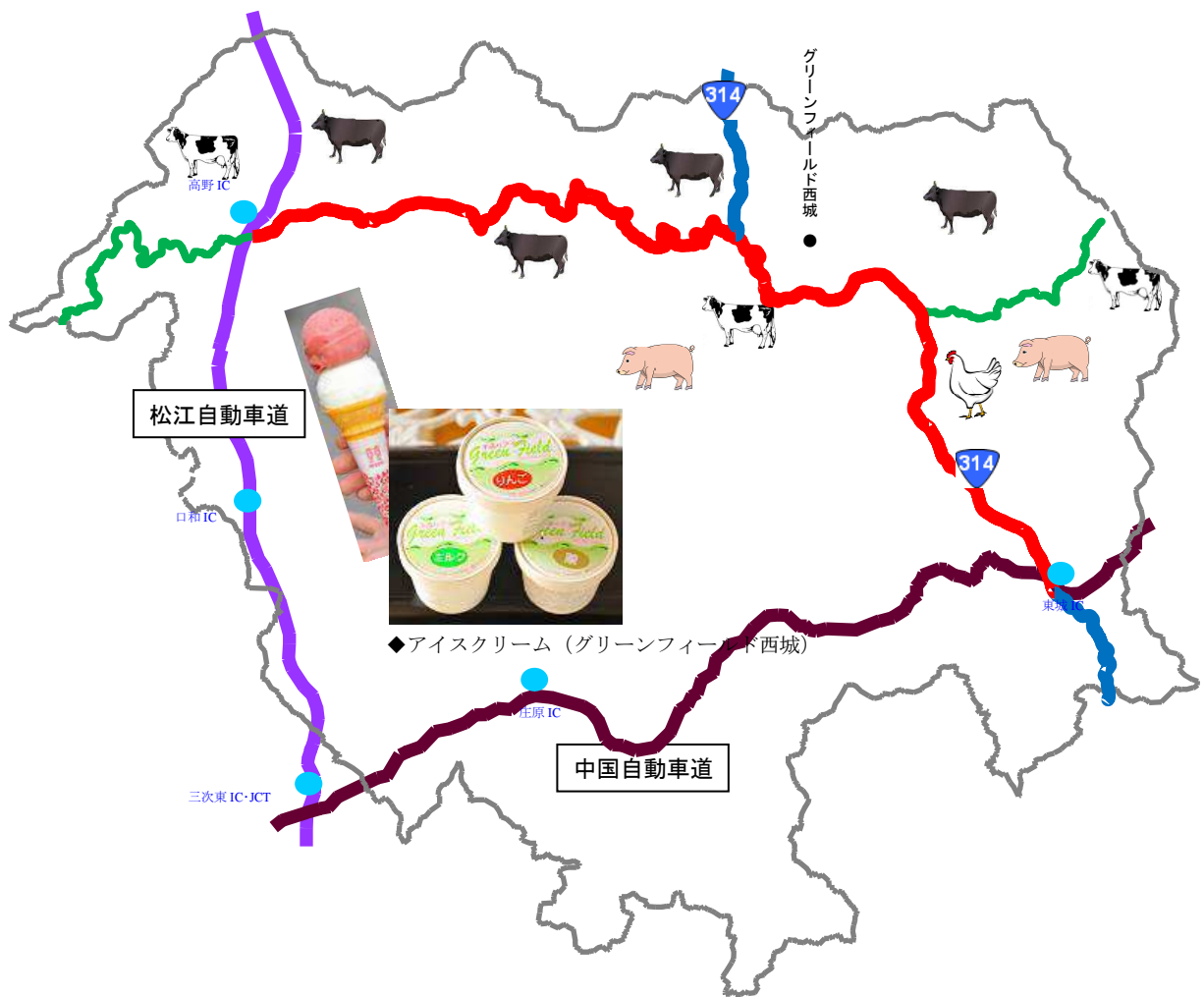
(4) 主な畜産



◆齊木牧場（高野）



◆ホルスタイン（畜産共進会）

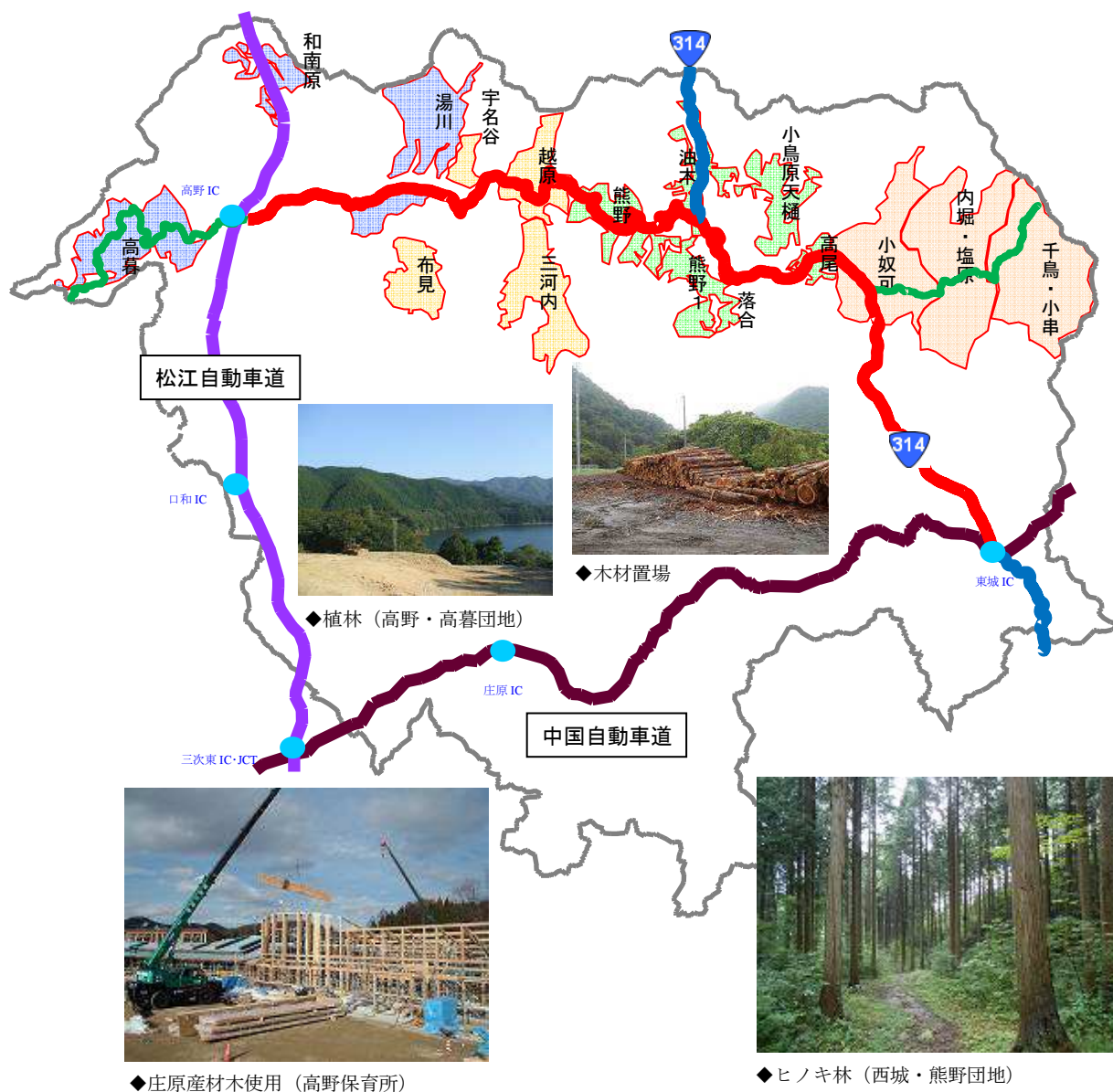


◆あづま麓像（比和）



◆比婆牛素牛（三次家畜市場）

(5) 団地化された森林



■低コスト林業団地

小規模零細な林家等が所有する森林について、森林組合等の長期施業受委託などにより、所有と経営を分離し、団地化された森林

(単位 : ha)

地域名 (団地数)	団地の設定主体	団地の面積				備考 (団地名)
		A=B+C+D	スギ B	ヒノキ C	その他 D	
高野地域 (3)	備北森林組合	1,122.32	389.87	732.45	0.00	湯川 高暮 和南原
比和地域 (4)	備北森林組合	1,582.30	694.31	887.99	0.00	三河内 布見 越原 宇名谷
西城地域 (6)	西城町森林組合	1,473.23	819.69	791.64	12.87	小鳥原天樋 油木 落合 熊野1 熊野 高尾
東城地域 (3)	東城町森林組合	2,025.51	695.54	1,329.97	0.00	内堀・塩原 千鳥・小串 小奴可
合計16団地	合計3主体	6,203.36	2,599.41	3,742.05	12.87	

第五話 物語の光と影 ～資源活用における強みと弱み～

地域に所在する多様な資源を活用した観光振興やにぎわい創出、交流・定住を促進するに当たり、次のとおり「強みと弱み」を整理します。

(1) 多様な資源が所在 ～強み～

本市は、自然豊かな山や川、四季の移ろい感じる風景、農畜産物や森林資源のみならず、太古のロマンが誘^{いざな}う神話・伝説の地、自然体験やウインタースポーツが楽しめる観光資源などに恵まれています。

(2) 観光振興計画に沿った取り組み ～強み～

本市の観光振興計画(平成25年度策定)では、基本コンセプトを“さとやま遊びで感動を生む観光地域づくり”とし、「山遊び」「花と緑」「食材の宝庫」「ほんもの体験」「さとやま文化」をキーワードとした個別施策を設定しています。

本市の各地域は、顕在化した資源、潜在的な資源を含め、まさに「さとやま資源」の宝庫であり、多様かつ未知の可能性を秘めた“さとやま遊びで感動を生む観光地域”です。

“さとやま遊び”とは？

本市の歴史や豊かな自然、暮らし、文化などの「さとやま資源」を楽しむ姿を表現しています。

(3) 資源の活用不足 ～弱み～

本市においては、多様かつ価値ある資源を有しているにもかかわらず、一部を除いて潜在的資源の領域にとどまり、注目度や認知度を含め、その活用が不十分と認められます。

(4) 道路の現況 ～弱み～

“比婆いざなみ街道”の対象となる国道、県道及び市道の一部区間においては、幅員が狭小で冬季通行止め区間もあります。

第六話 物語の起承転結 ～資源活用の基本方向～

“観光”とは、「国の光を^み観る、^み観せること」に由来するとされ、一般的には「楽しみを目的とした旅行」を意味しますが、「地域の魅力や暮らしぶりを観察する・伝える」という解釈も成立します。

また、本市の観光振興計画(平成25年度策定)では、「観光振興の基本的な考え方」として、「知ってもらおう」「来てもらおう」「感じてもらおう(感動・感激を生む)」「また来てもらおう」の循環的な取り組みが大切であると整理しています。

こうした基本認識に基づき、次のとおり段階的な資源活用の方向性を設定します。

Step1 知ってもらおう

まずは、多様な資源の存在や価値を「庄原市民が知ること」が大切です。次に、その情報を市外・県外に発信して「広島県の北部に、こんな場所・こんな歴史・こんなモノがあること」を知ってもらおう・関心を寄せてもらおう取り組みを進めます。

Step2 来てもらおう

次に、来訪の呼びかけや周遊ルートの設定、主要施設からの誘導・案内など、実際に来てもらおう・見てもらおう取り組みを進めます。

Step3 感じてもらおう

次に、来訪者に資源の価値や魅力、市民との交流やもてなしの心などを感じてもらおう・感動を生む取り組みを進めます。

Step4 また来てもらおう

次に、来訪者が心に刻まれた感動や思い出を他の人に伝える「庄原ファン」として、また来てもらおう・新たな来訪者を招く使者になってもらおう取り組みを進めます。

庄原に住んでもらおう

第七話 比婆いぎなみ街道で宝探し ～対象路線～

現況（総延長61.4km） 走行時間約90分

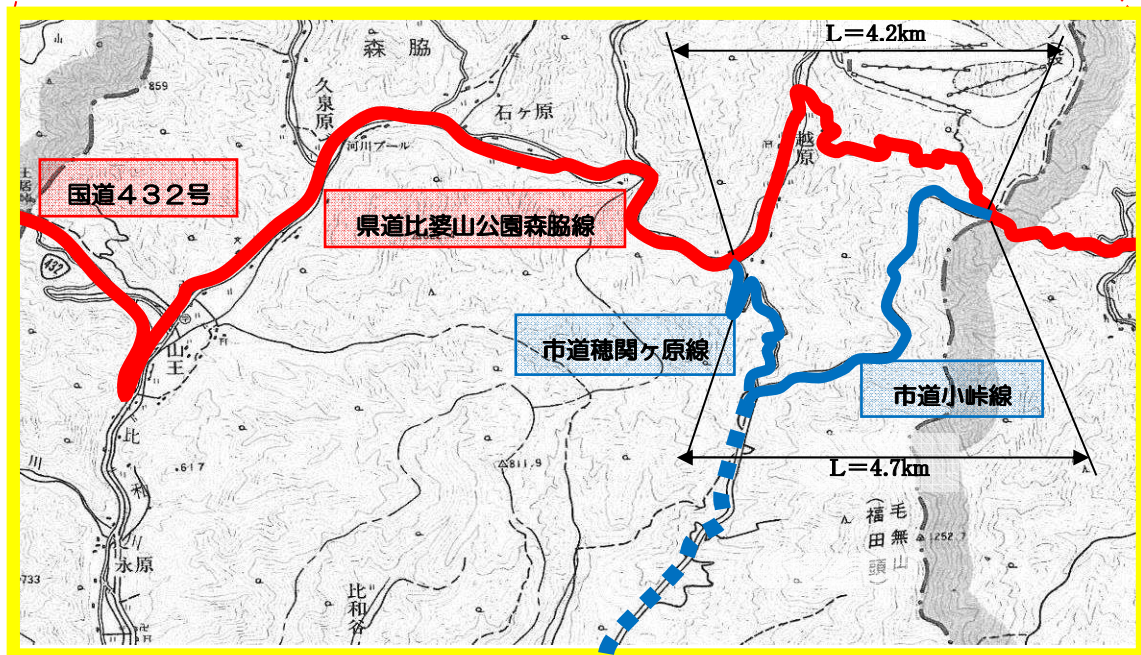
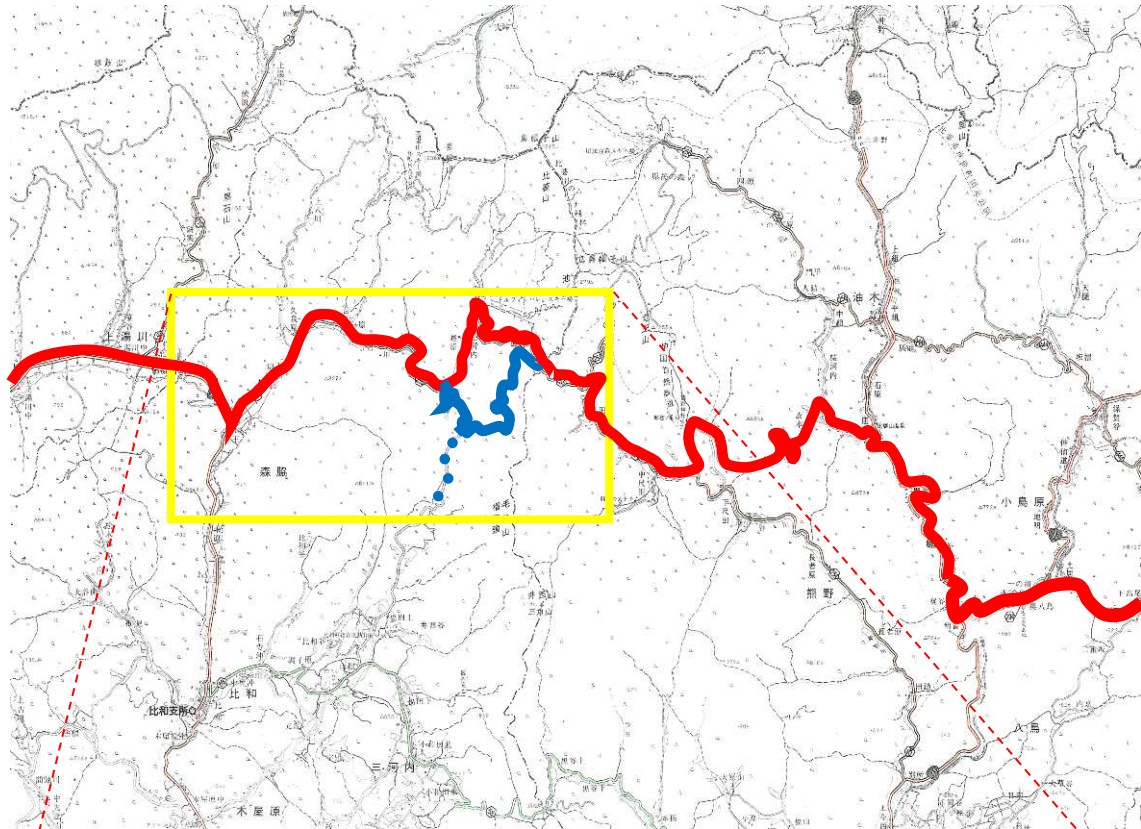


■ 対象路線

番号	区分	路線名	区間	走行時間
①	主要地方道	三次高野線 (39)	3.3km	約5分
②	一般国道	432号	8.5km	約11分
③	一般県道	比婆山公園森脇線 (255)	11.1km	約16分
④	一般県道	比婆山公園線 (254)	3.4km	約12分
⑤	市道	市道熊野神社線	1.2km	約8分
⑥	市道	市道油木熊野線	3.6km	
⑦	市道	市道後油木線	1.3km	
⑧	一般国道	314号	29.0km	約38分
		総延長	61.4km	約90分

迂回路への誘導

“比婆いざなみ街道”の対象路線には、幅員が狭小で大型車の通行ができない箇所もあるため、当分の間、県道比婆山公園森脇線の一部区間については、市道小峠線及び市道穂関ヶ原線を迂回路とし、誘導・案内します。



第八話 ^{しょうけい} 憧憬の地への挑戦 ～第1期事業計画～

(1) 資源の発掘と磨き上げ

観光資源、文化財をはじめとする多様な資源に関し、“庄原ならでは”“庄原のこだわり”という視点をもった宝探し(発掘)と磨き上げに取り組み、全国に情報を発信します。

事業① 比婆山・熊野神社解説書作成(第2期いちばん基本計画掲載事業)【生涯学習課】

比婆山御陵と熊野神社をはじめとする比婆山神話、歴史的背景や植生などの自然環境を調査・整理した冊子を作成し、こだわりの観光資源として光を当てる。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	1,000千円	-	-	-	-
備考	平成27年度に準備事業(予算化済)500千円 解説書用写真撮影・比婆山御陵図面作成(補正予算)1,774千円				

事業② 沿線文化財群利活用促進事業【生涯学習課】

比婆いざなみ街道の沿線文化財群の存在や価値を広く市民が知る機会の拡大を図るとともに、地域資源として積極的に活用する機運を醸成するための取り組みを進める。

- 沿線文化財群利活用計画の策定
- 指定文化財保護管理の支援
- 沿線施設での庄原市民俗芸能大会の開催(隔年で開催)
- 沿線文化財に関する講演会の開催
- 現地解説ガイドの育成
- “地域学”としての「比婆山学」への展開(比婆山・熊野神社解説書と連動)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	540千円	750千円	400千円	750千円	400千円
備考	現地解説ガイドの育成目標(平成32年度・20人)				

事業③ 沿線文化財群にかかる案内標識及び説明看板設置事業【生涯学習課】

比婆いざなみ街道の沿線文化財群の利活用を促進するため、利用者の視認性及び交通アクセスをより高める機能的な案内標識、単なる解説にとどまらない街道ならではのストーリー性を有し、かつ、統一感のあるデザイン(共通ロゴ、QRコード化等)に優れた説明看板へのリニューアル又は新規設置を行う。

※沿線文化財群：合計49件(天記34、有民1、重文4、史跡10)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	1,508千円	1,410千円	1,410千円	1,410千円	1,440千円
備考	文化財調査・案内標識24件・説明看板36件				

事業④ 沿線文化財群まるごとフィールドミュージアム化事業【生涯学習課】

比婆いざなみ街道の整備を機に、個別活用が図られてきた沿線文化財群の総体を一つの「フィールドミュージアム」と捉え、ストーリー性をもつ新たな枠組みのもとで教材化を図る。

- 文化財群等の再編集によるストーリー性をもった体験プログラムの創出
- 体験プログラムごとの推奨見学ルートの設定
- 体験プログラム及び推奨見学ルートを紹介するパンフレットの作成

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	-	84千円	684千円	684千円	684千円
備考	文化財調査・パンフレット編集印刷 体験プログラムの提供目標(平成32年度・6件)				

事業⑤ 比婆牛知名度向上事業【農業振興課】

比婆いざなみ街道の沿線(比和地域)は、本市がブランド化に取り組んでいる比婆牛(岩倉^{いさ}蔓)の発祥の地であり、当該街道沿いに「比婆牛」の看板等を設置し、内外に対する知名度・認知度の向上を図る。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	2,000千円	-	-	-	-
備考	看板等設置(1箇所)				

事業⑥ 溪流魚放流事業【農業振興課】

比婆いざなみ街道沿いには、中国山地を源流とする複数の溪流(神之瀬川・比和川・西城川・東城川)があり、やまめ、あまご、鮎などを求めて多くの釣り人が訪れている。

各河川への幼魚の放流を継続・増量し、豊かな漁場としての魅力を向上する。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	2,268千円	2,268千円	2,268千円	2,268千円	2,268千円
備考	平成28年度から400千円増額				

(2) 新たな景観形成

各地域の豊かな自然は、既存の景観だけでも訪れた人々に“やすらぎ”や感動を与える価値を有していますが、その魅力を更に高めるため、遊歩道・登山道の整備や街道沿いへの花木の植樹など、新たな景観形成に取り組みます。

事業① 街道沿線花木植樹事業【商工観光課】

比婆いざなみ街道の沿線に桜などの花木を植樹し、新たな景観を形成することで観光誘客を促進する。

なお、植樹は、沿線の1地域当たり1,373(イザナミ)本を予定する。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	6,865千円	6,865千円	6,865千円	6,865千円	800千円
備考	平成27年度 概要と仕組みづくり、関係者との協議 平成28～31年度 広報、苗木配布(1,373本×4地域)、維持管理 平成32年度 看板設置(8本)				

事業② 施設周辺植樹事業【林業振興課】

比婆いざなみ街道の沿線に所在する観光地周辺や駐車場に、市の花・サクラ、市の木・ブナ、夏に咲くヤマボウシ、秋の彩・モミジなどの景観木を植樹する。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	640千円	-	-	-	-
備考	平成27年度 事前準備・関係者との調整及び協議 40本×8箇所=320本 2千円/本×320本=640千円				

事業③ 沿線の森林整備事業【林業振興課】

比婆いざなみ街道の魅力・景観を向上するため、2m程度の幅で沿線の森林を整備する。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	2,200千円	2,200千円	2,200千円	2,200千円	2,200千円
備考	平成27年度 事前準備・関係者との調整及び協議 里山林整備・10km/年 ひろしまの森づくり事業補助10/10				

(3) にぎわい創出施設の機能強化

市内に4つのインターチェンジが所在するほか、公設の観光交流施設(道の駅3、類似施設2)、宿泊施設、交流施設、さらには民営のレクリエーション施設や観光案内所など、多様な観光拠点施設を有している優位性を生かし、これらの機能向上と有機的な連携を推進します。

また、農畜産物を生産地に近い場所で提供することで、「新鮮で安心・安全な食材」を前面に出した販売促進への展開を図ります。

事業① 熊野農産物加工施設(イザナミ茶屋)整備事業【農業振興課】

“比婆いざなみ街道”の沿線に所在する農産物加工・販売施設として利活用を促進するため、当該施設の改修・リニューアル、備品整備等を行う。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	1,500千円	1,500千円	-	-	-
備考	平成27年度 施設改修等(補正予算)3,244千円 農産品等の販売額目標(平成32年度10,000千円・平成26年度8,000千円)				

(4) 比婆いざなみ街道への誘導

資源の効果的・効率的な活用には、“比婆いざなみ街道”の利便性・快適性の向上も求められることから、関係機関との協議・調整に努めます。

また、多様化する観光目的に応じたコース設定、プロモーション事業など、積極的な誘導に取り組みます。

事業① 木製案内板設置事業【林業振興課】

道の駅や観光地点、簡易駐車場などに、間伐材を利用した木製案内板(8箇所)を設置する。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	1,600千円	-	-	-	-
備考	@200千円/基：サイズ構造により変更有				

事業② 道路案内標識設置事業【建設課】

比婆いざなみ街道に案内標識を設置し、対象路線の案内と利便性の向上を図る。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	4,000千円	4,000千円	4,000千円	4,000千円	2,000千円
備考	案内標識 1,000千円/基×18基				

事業③ 比婆いざなみ街道プロモーション事業【商工観光課】

比婆いざなみ街道の認知度を高め、当該区域内への誘客を促進するため、統一のぼり・ドライブマップを作成し、街道のPR及び沿線スポットへの誘客を図る。

■ドライブマップ(案)の概要

ターゲット	熟年夫婦二人旅（本市来訪客の約20%を占める客層であり、特に熟年世代は自然の景観や温泉、歴史に対する興味度が高いため、本街道との親和性が高い）
コンセプト	悠久の時をめぐる旅
掲載案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神話の舞台(比婆山御陵、吾妻山、熊野神社) ・ 巨樹(一本桜、熊野の杉・大トチ、高野乳下がり銀杏) ・ 古代ロマン(クジラ、ヒバゴン) ・ 重要文化財(三楽荘、堀江家、荒木家) ・ その他、沿線の「食べる、遊ぶ、買う、泊まる」情報を併せて紹介
仕様等	B2版・4色・両面・折製本 部数：10,000部

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
概算事業費	1,404千円	800千円	800千円	800千円	800千円
備考	平成27年度 統一のぼり作成80本(補正予算) 171千円 マップ仕様(規格・素材・デザインの方向性)の決定 平成28年度 マップ初版作成 平成29年度～マップ改訂版発行 街道沿いの観光客数目標(平成32年度1,1681千人/年・平成25年度の2%増) 観光消費額目標(平成32年度1,673,547千円・平成25年度の4%増)				

第九話 物語は第2幕へ ～今後の検討事項～

検討① テレビ等を利用した観光プロモーション事業【商工観光課】

沿線資源の存在や魅力を、広域的かつ効果的に「知ってもらおう」ため、テレビ等の利用を含めた観光プロモーション事業を検討します。

検討② 比和いざなみ工房の活用検討【いちばんづくり政策監ほか】

未利用の木材工芸品加工施設(比和いざなみ工房)について、販売施設、交流施設、休憩施設など、にぎわいを創出する視点をもって活用を検討します。

検討③ 二輪愛好者の誘客【商工観光課】

比婆いざなみ街道の特性を生かした誘客を図るため、自転車(マウンテンバイク)やオートバイなどの愛好者をターゲットとした誘導を検討します。

検討④ 比婆いざなみ街道活用プロジェクトチームの設置【商工観光課】

庄原観光いちばん協議会の3部会(逸品部会・花と緑のまちづくり部会・観光プロモーション部会)の連携によるプロジェクトチームを設置し、比婆いざなみ街道と沿線観光資源の魅力向上、プロモーション事業などを検討します。

検討⑤ 関係団体の活動促進【商工観光課・農業振興課ほか】

道の駅や宿泊施設、スキー場などの施設管理者、りんごや野菜、加工品の特産品生産者や民泊の経営者など、比婆いざなみ街道の沿線で資源の管理・活用に携わる個人、団体を対象とした組織のネットワーク化、活動促進を検討します。

資 料

■観光資源一覧

施設種別	施設名	地域	施設種別	施設名	地域
宿泊施設	農家民泊たなか	高野	キャンプ場	大鬼谷オートキャンプ場	高野
	ふるさと村高暮	高野		吾妻山ロッジキャンプ場	比和
	農家民宿ひげおやじの館	高野		ひろしま県民の森キャンプ場	西城
	農家民宿りんご畑	高野	温泉施設	たかの温泉神之瀬の湯	高野
	農家民宿花いかだ	高野		あけぼの荘	比和
	福原旅館	高野		比婆山温泉熊野湯旅館	西城
	休暇村吾妻山ロッジ	比和		高尾の湯	西城
	かさべるで	比和		ひばごん郷温泉すずらの湯	西城
	ひろしま県民の森	西城		リフレッシュハウス東城	東城
	ひば・道後山高原荘	西城		比和自然科学博物館	比和
	比婆山温泉 熊野湯旅館	西城	博物 館 自 然	比婆道後帝釈国定公園	比和・西城・東城
	道後山高原猫山館	西城		吾妻山	比和
	スノーリゾート猫山ログコテージ	西城		毛無山(福田頭)	比和
	道後山高原合宿センター	西城		八国見山	口和
大正旅館	東城	比婆山御陵		西城	
スポーツ施設	グリーンサーキット高野	高野		竜王山	西城
	比和総合運動公園	比和		道後山	西城
	道後山高原クロカンパーク	西城		雄滝・雌滝	高野
スキー場	りんご今日話国スキー場	高野		手洗滝	口和
	ひろしま県民の森スキー場	西城		鳥尾の滝	西城
	スノーリゾート猫山	西城	ぼにばな(ヒゴタイ)の丘	比和	
	道後山高原スキー場	西城	サクラソウ・スズラン(クロカン内)	西城	

■文化財一覧

●特別天然記念物

指定	名 称	地域
国	オオサンショウウオ	-

●天然記念物

指定	名 称	地域	指定	名 称	地域
国	比婆山のブナ純林	比和・誠	市	和南原のウワミズザクラ	高野
国	熊野の大トチ	西城	市	奥ノ名のオオウラジロノキ	高野
県	金屋子神社のシナノキ	高野	市	王居峠神社社叢	高野
県	円正寺のシダレザクラ	高野	市	慶雲寺シラカシ林	比和
県	上高野山の乳下がりイチョウ	高野	市	吾妻山備北層群	比和
県	南の八幡神社社叢	高野	市	比婆山のイチイ群	西城
県	上湯川の八幡神社社叢	高野	市	三坂中組の三本イチイ	西城
県市	ゴギ	西城	市	摩利支神社の大ふじ	東城
県	熊野神社の老杉	西城	市	八面荒神社の大ふじ	東城
県	北村神社の巨樹群	西城	市	白鬚神社の社叢	東城
県	小奴可の要害桜	東城	市	板井谷のカツラ	東城
県	森湯谷のエドヒガン	東城	市	大古屋の大もみじ	東城
県	板井谷のコナラ	東城	市	妙楽寺のイチイ	東城
県	千鳥別尺のヤマザクラ	東城	市	市原の大こぶし	東城
県	東城川の甌穴	東城	市	森脇のエゾエノキ	東城
市	田部家のイチイ	高野	市	法恩時のキャラボク	東城
市	多賀山神社のヒノキ	高野	市	栗田未政のコブシ	東城
市	長妻家りんご樹(2本)	高野	市	川西宮平のカヤ	東城
市	山根荒神社のシナノキ	高野	市	竹森八幡神社の巨石群	東城
市	上市大山神社のモミ	高野			

●史跡

指定	名 称	地域	指定	名 称	地域
県	薨山城跡	高野	県	大迫山古墳群	東城
県	比婆山伝説地	比和	県	五品嶽城跡	東城
県	六の原製鉄場跡	西城	市	古家真屋敷跡	比和
県	小島原砂鉄精錬場跡(大谷山たたら)	西城	市	吾妻山カンナ残丘・カンナ遺構	比和
県	八鳥塚谷横穴群	西城	市	蟻腰城跡	西城
県	内堀の神代垣内落鉄穴跡(洗場)	東城	市	龜山城跡	東城

●登録有形文化財

指定	名 称	地域	指定	名 称	地域
国	三楽荘茶室	東城	国	三楽荘門及び塀	東城
国	三楽荘土蔵	東城	国	三楽荘離れ	東城
国	三楽荘本館	東城			

●重要文化財

指定	名 称	地域	指定	名 称	地域
国	堀江家住宅	高野	市	八鳥佛段宝篋印塔	西城
国	荒木家住宅	比和	市	長尾隼人供養塔	東城
市	中野八幡神社の石鳥居	西城			

●有形民俗文化財

指定	名 称	地域
市	小島原のソウズ	西城

●無形民俗文化財

指定	名 称	地域	指定	名 称	地域
国	比婆荒神神楽	東城・西城	国	塩原の大山供養田植え	東城

■観光りんご園

No.	名 称	地域	No.	名 称	地域	No.	名 称	地域
1	長曽りんご園	高野	2	島津りんご園	高野	3	青才りんご園	高野
4	田中(勇)りんご園	高野	5	青才光紀りんご園	高野	6	白根りんご園	高野
7	田辺りんご園	高野	8	長妻章司りんご園	高野	9	大坂りんご園	高野
10	鉄岡りんご園	西城	11	山上観光りんご園	東城	12	岩本観光りんご園	東城
13	佐藤観光りんご園	東城	14	森下観光りんご園	東城	15	白石観光りんご園	東城

■夏秋いちご

No.	名 称	地域	No.	名 称	地域	No.	名 称	地域
1	ナチュラルファームタニグチ	高野	2	(有)RED	高野	3	榎ひばごんファーム	西城
4	東城八幡ファーム(株)	東城	5	グリーンカウベル	東城	6	沖美ベジタ(有)	東城

■キャベツ生産団地

No.	名 称	地域	No.	名 称	地域
1	和南原地区(毛無山開発団地)	高野	2	持丸地区(東城広域営農団地)	東城

■農産物（園芸振興作物）平成25年度実績

品目	J a 共販量（t）		共販額（千円）	
	北部地域	庄原市全体	北部地域	庄原市全体
ほうれんそう	130.1	247.7	90,440	144,401
青ねぎ	107.0	108.0	77,221	99,418
トマト	284.2	302.7	80,299	80,595
アスパラガス	29.4	44.1	28,005	42,285
だいこん	1,293.0	1,293.0	129,521	129,521

■畜産関係（平成27年2月1日現在）

○乳用牛（ホルスタイン種・ジャージー種）

単位：頭

	西城地域3戸	東城地域4戸	高野地域3戸	庄原市全体31戸
成牛	81	363	67	1,341
育成牛	23	149	18	466
子牛	13	16	6	134

○肉用牛【繁殖牛】（黒毛和種）

単位：頭

	西城地域22戸	東城地域87戸	高野地域27戸	比和地域28戸	庄原市全体256戸
成牛	87	467	196	107	1,393
育成牛	13	74	27	18	240
子牛	48	245	108	63	691

○肉用牛【肥育牛】（黒毛和種・乳用種・交雑種）

単位：頭

	西城地域 1戸	東城地域 3戸	庄原市全体 16戸
雌・去勢・雄	92	188	725

○豚（ランドレース・大ヨークシャー・デュロック種・雑種）

単位：頭

	西城地域 1戸	東城地域 1戸	庄原市全体 5戸
種雄豚	0	2	16
種雌豚（8ヵ月以上）	0	11	184
肉豚（3ヵ月以上）	28,657	180	30,402

○採卵鶏

単位：羽

	東城地域 5戸	庄原市全体 13戸
成鶏	1,933,487	2,438,721
育成鶏	181,625	747,790

